

七三だより 後期学校評価

平成30年3月16日
京都市立七条第三小学校
校長 中村 佳明

◆「実現度」が前期よりアップした項目が多数！！

前期は6月に実施しました。学校の取組をまだ2か月しかご覧にならない時のアンケートです。ところが、今回は1月実施なので、学校の取組や子どもたちの様子をたっぷりご覧になった回答していただしたことになります。つまり、学校の取組やそれらを行おうとする学校の意図、子どもたちの姿に対しての高い評価ととらえたいと思います。来年度に向けて、保護者の皆様の理解と力強いバックアップととらえ、自信をもって取組を進めます！

◆「あいさつ」に対しての高いニーズ

子どもたちに「しっかりとあいさつができるようになってほしい。」というニーズを強く感じる結果となっています。手本を示す「大人のあいさつ」への意識の高まりを感じます。子どもも大人も、保護者も地域も、本気で「あいさつ日本一」を目指していきましょう！

平成29年度 後期学校評価 保護者アンケート 結果	実現度						
	A	B	A+B	C	D	C+D	E
	よく出来ている	大体出来ている		あまり出来ていない	出来ていない		わからない
「わかる」「できる」「楽しい」授業	後 18.3% ▲ 65.1% ▲ 83.4%	前 19.4% 63.3% 82.7%		8.3% 9.7%	1.9% 1.9%	10.2% 11.6%	6.4% 5.7%
集団での学び合い	後 ▲ 23.9% ▲ 65.8% ▲ 89.7%	前 23.4% 63.7% 87.1%		6.7% 5.9%	0.6% 0.8%	7.2% 6.7%	3.1% 6.2%
コミュニケーション能力（表現力）の育成	後 ▲ 18.6% ▲ 57.3% ▲ 75.9% ▼ 15.8%	前 13.2% 57.0% 70.3%		1.4% 16.8%	▼ 2.4% 2.4%	17.2% 19.2%	6.9% 10.5%
授業と家庭学習をつなげる	後 15.6% 56.0% 71.6% ▼ 20.9%	前 16.4% 61.0% 77.4%		3.1% 14.0%	▼ 2.2% 2.2%	24.0% 16.1%	4.5% 6.5%
自己有用感を育む（児童会活動やたてわり活動）	後 ▲ 31.0% 58.4% ▲ 89.5%	前 27.2% 59.9% 87.1%		4.7% 6.2%	0.0% 0.3%	4.7% 6.5%	5.8% 6.5%
学校教育全体を通じての道徳教育	後 ▲ 27.7% 62.0% ▲ 89.8%	前 23.7% 63.6% 87.3%		4.4% 5.1%	0.6% 0.5%	5.0% 5.7%	5.3% 7.0%
大人のあいさつ	後 24.7% 54.6% 79.2% 12.5%	前 22.0% 55.6% 77.7% 13.7%		2.2% 1.6%	14.7% 15.3%	6.1% 7.0%	
大人の読書	後 9.4% 36.8% ▲ 46.3%	前 9.4% 38.3% 47.7%		32.7% 28.2%	9.4% 9.1%	42.1% 37.3%	11.6% 15.0%
大人のルール・マナー	後 11.4% 60.9% 72.3% 16.6%	前 11.5% 58.2% 69.7%		1.7% 18.2%	3.8% 22.0%	18.3% 8.3%	9.4% 8.3%
基本的な生活習慣の確立	後 18.0% 68.4% 86.4% 9.7%	前 20.1% 63.5% 83.6%		1.4% 12.3%	0.3% 0.3%	11.1% 12.6%	2.5% 3.8%
遊びや体力づくりや遊びの推奨	後 23.6% 58.9% 82.5% 12.8%	前 19.5% 59.1% 78.6%		1.9% 15.0%	1.3% 1.3%	14.7% 16.3%	2.8% 5.1%
安全・防犯・防災意識を高める指導	後 25.0% 61.8% 86.8% 8.4%	前 28.2% 62.3% 90.5%		0.8% 6.5%	0.5% 0.5%	9.3% 7.0%	3.9% 2.4%
健全な心と体を育む	後 19.6% 68.1% 87.7% 8.1%	前 18.7% 70.7% 89.4%		0.8% 6.2%	0.5% 0.5%	9.0% 6.8%	3.4% 3.8%
ルールやマナーの大切さ	後 18.9% ▲ 66.4% ▲ 85.3%	前 21.0% 57.6% 78.5%		7.8% 13.8%	0.8% 0.3%	8.6% 14.1%	6.1% 7.4%
いじめや暴力を許さない学校づくり	後 14.7% ▲ 59.8% ▲ 74.5%	前 16.5% 51.7% 68.3%		9.1% 10.9%	2.2% 3.5%	11.4% 14.4%	14.1% 17.3%
「あいさつ」の習慣化	後 ▲ 33.4% 48.6% 82.0% 13.3%	前 26.7% 55.5% 82.1%		2.2% 12.0%	▼ 0.8% 0.8%	15.5% 12.8%	2.5% 5.1%
自己有用感を育む（小中一貫した取組）	後 10.3% ▲ 57.2% ▲ 67.5%	前 10.9% 50.9% 61.9%		14.2% 13.9%	1.4% 1.3%	15.6% 15.2%	16.9% 22.9%
地域と連携して教育活動を行う	後 24.4% 58.6% 83.1% 7.5%	前 20.9% 58.6% 79.4%		0.8% 6.7%	0.8% 1.3%	8.3% 8.0%	8.6% 12.6%
積極的な情報発信	後 24.4% 55.8% 80.3% 10.8%	前 24.5% 53.9% 78.4%		1.4% 10.1%	1.4% 0.8%	12.2% 10.9%	7.5% 10.7%
参観や行事、教育活動への参加・協力の呼びかけ	後 26.4% 60.0% 86.4% 8.1%	前 28.0% 59.2% 87.2%		0.8% 4.5%	0.5% 0.5%	8.9% 5.1%	4.7% 7.7%

保護者アンケートより

平成30年3月16日
京都市立七条第三小学校
校長 中村 佳明

学校教育目標
「なりたい自分 えがく めざす かなえる 共に」
～夢をもてば 未来は変わる 世界は変わる～

平成29年度 後期学校評価 児童アンケート 結果	A		B		A+B	
	そう思う	大体そう思う	そう思う	大体そう思う	そう思う	大体そう思う
学校の勉強は、よく分かりますか。	高 前 35.8%	後 45.2%	高 前 54.9%	後 45.2%	▲ 90.7%	高 前 90.3%
	中 前 56.9%	後 64.5%	中 前 36.8%	後 30.4%	▲ 94.9%	中 前 94.9%
学校では、楽しみな勉強がたくさんありますか。	高 前 25.6%	後 31.5%	高 前 41.9%	後 42.7%	▼ 67.4%	高 前 74.2%
	中 前 54.7%	後 76.8%	中 前 29.7%	後 17.4%	▲ 93.2%	中 前 92.7%
「七三 学びの道しるべ」を学習に役立てていますか。	高 前 11.2%	後 18.5%	高 前 43.7%	後 45.2%	▼ 54.9%	高 前 63.7%
	中 前 32.8%	後 25.4%	中 前 48.3%	後 52.6%	▼ 73.7%	中 前 85.4%
授業では、「学習問題（めあて）」が解決し、すっきりすることが多いですか。	高 前 23.3%	後 33.1%	高 前 34.0%	後 36.3%	▼ 57.2%	高 前 69.4%
	中 前 41.0%	後 46.0%	中 前 40.2%	後 48.7%	▲ 81.2%	中 前 84.7%
勉強のとき、友だちと上手に話し合っていることがありますか。	高 前 32.6%	後 40.1%	高 前 41.4%	後 37.2%	▼ 74.0%	高 前 83.9%
	中 前 47.9%	後 69.3%	中 前 36.8%	後 22.6%	▲ 84.6%	中 前 92.0%
自分の考えを進んで発表することができますか。	高 前 15.3%	後 21.8%	高 前 24.7%	後 27.4%	▼ 40.0%	高 前 49.2%
	中 前 40.7%	後 44.9%	中 前 37.3%	後 30.9%	▲ 78.0%	中 前 75.7%
宿題以外の家庭学習（自主学習）の自分で合ったやり方が見つかっていますか。	高 前 35.3%	後 46.0%	高 前 39.5%	後 31.5%	▼ 74.9%	高 前 77.4%
	中 前 44.9%	後 46.0%	中 前 36.4%	後 35.0%	▲ 81.4%	中 前 81.0%
宿題以外の家庭学習（自主学習）を進んでいますか。	高 前 33.0%	後 27.4%	高 前 28.4%	後 33.1%	▲ 61.4%	高 前 60.5%
	中 前 34.7%	後 40.1%	中 前 39.8%	後 30.7%	▲ 74.6%	中 前 70.8%

◆ 友達関係が良好！特に高学年で深まり！！

友達関係に関する設問で、前期にひき続き高い水準の数値が見られます。特に、「安心して話したり、遊んだりできる友だちがいますか。」は、高学年だけアップしています。普段の生活に加え、運動会や学芸会などの大きな行事を通して、お互いの仲が深まっているからでしょう。高学年で深まっている仲は、中学校やその後の人生の大切な宝物となることでしょう。

◆ 「たてわり活動」で高学年の数値がダウン・・・？

「たてわり活動」の設問で高学年の数値がダウンしました。今年度は「たてわり遊び」も始めるなど取組も増え、少なくともたてわりグループで集まる機会が増えました。それなのに高学年の数値が下がっていることが気になりました。「たてわり活動」では、高学年がグループをまとめたり、低学年を世話したりしなければなりません。その喜びや達成感より負担感が大きいとしたら、「たてわり活動」のねらいが達成できません。高学年も達成感や自己有用感を実感できる活動にしていきたいと思います！

児童アンケートより

◆「学習」に関する設問では、高学年は全体的に下降・・・。

「学校の勉強は、よく分かりますか。」の設問は9割以上をキープし、高学年でも前期より上昇しています。学校での学習には前向きであることを表す数値です。ところが、具体的な内容については、高学年は大きくダウン、中・低学年に比べてプラス評価の割合も低くなっています。高学年になるほど難易度が上がる事実で、子どもたちの自己評価もシビアになっているのも事実ですが、それを言い訳にしてはいけません。

また、「自分の考えを進んで発表することができていますか。」のプラス評価が4割にとどまっています。見過ごすわけにはいきません。

これらの結果を真摯に受け止め、来年度も「わかりやすい授業」「コミュニケーション能力（表現力）の育成」に総力を挙げて取り組みます！

平成29年度 後期学校評価 児童アンケート 結果	A		B		A+B	
	そう思う	大体 そう思う	そう思う	大体 そう思う	そう思う	大体 そう思う
学校生活で、ルールを守り、マナーを心がけていますか。	高 前 ▲ 37.2%	後 37.1%	高 前 53.5%	後 52.4%	▲ 90.7%	高 前 89.5%
	中 前 ▲ 68.6%	後 65.0%	中 前 27.1%	後 29.9%	▲ 95.8%	中 前 94.9%
家庭や地域で、ルールを守り、マナーを心がけていますか。	高 前 ▲ 41.9%	後 35.5%	高 前 47.0%	後 50.0%	▲ 88.8%	高 前 85.5%
	中 前 ▲ 66.1%	後 70.8%	中 前 31.4%	後 23.4%	▲ 97.5%	中 前 94.2%
安心して話したり、遊んだりできる友だちがいますか。	高 前 ▲ 41.9%	後 35.5%	高 前 47.0%	後 50.0%	▲ 88.8%	高 前 85.5%
	中 前 ▲ 66.1%	後 73.2%	中 前 31.4%	後 23.9%	▲ 97.1%	中 前 97.1%
安心して話したり、遊んだりできる友だちがいますか。	高 前 ▲ 23.5%	後 24.6%	高 前 23.0%	後 24.2%	▲ 97.2%	高 前 95.1%
	中 前 ▲ 87.2%	後 85.3%	中 前 6.8%	後 9.6%	▲ 94.0%	中 前 94.9%
他の人（友だち・先生など）の期待にこたえ、自分にできることに進んで取り組もうとしていますか。	高 前 30.2%	後 29.0%	高 前 42.8%	後 43.2%	▲ 91.5%	高 前 77.4%
	中 前 48.3%	後 48.9%	中 前 42.3%	後 42.3%	▲ 91.2%	中 前 91.2%
わけへだてなく、友だちを大切にしていますか。	高 前 66.5%	後 71.8%	高 前 28.8%	後 24.2%	▲ 96.0%	高 前 96.0%
	中 前 77.1%	後 70.6%	中 前 25.7%	後 25.7%	▲ 96.3%	中 前 96.3%
「日本一のあいさつ」をしていますか。	高 前 61.5%	後 65.0%	高 前 28.2%	後 28.5%	▲ 89.7%	高 前 93.4%
	中 前 72.3%	後 84.1%	中 前 23.4%	後 11.6%	▲ 95.6%	中 前 95.7%
「たてわり活動」で、他の学年の友だちと仲良くなりましたか。	高 前 ▲ 44.7%	後 41.1%	高 前 27.0%	後 34.7%	▲ 71.6%	高 前 75.8%
	中 前 ▲ 53.4%	後 51.5%	中 前 26.3%	後 23.5%	▲ 79.7%	中 前 75.0%

平成30年度の展望

平成29年度後期学校評価を実施しました。保護者の皆様、アンケートのご協力いただき、ありがとうございました。結果を分析・検討し、それらをもとに「平成30年度の展望」をまとめました。すでにお知らせしている内容も含まれていますが、来年度、七条第三小学校の取組の一端をおわかりいただけた幸いです。ぜひご一読いただき、ご理解とご協力いただきますよう、よろしくお願ひします。

七条第三小学校の考え方

新しい学習指導要領で重視される

『児童に主体的に学ばせる仕組みづくり』をめざします！

- 全ての学年で、外国語の授業が上乗せされ、今のままで授業時数が不足、または大変窮屈になりますので、毎週1時間の授業増が必要です。
- 児童が、何度も試したり、工夫を積み重ねたりする時間を少しでも確保したいと考えます。
- 児童の成長に大切な行事を機械的に切り崩すことなく、効率よく取り組みながら、より充実したものにしていきたいと考えます。
- 大切な「子ども時代」に欠かせない遊びやゆとりを、ギリギリまで保障したいと考えます。



キャリア教育の視点



「自立する子」「協力する子」を育てる

『キャリア教育の視点に立った学校・授業づくり』

- 学校生活で学ぶことは、「すべてのことに意味がある。」「むだなことなどひとつもない。」それを実感できれば、学ぶことが楽しくなり、明日も学校に行きたくなるでしょう。
- そのために、「自分の将来とつながっている」「どんな場面でも生かせる」「社会に生かされる」「人の役に立てる」と実感できる学校・授業づくりをめざします！

つながる授業
「今スッキリ」
「未来へバッチャリ」

つながる友だち
「自分も人も大切な存在」
「進んで役割を果たす」

つながる遊び
「夢中になる」
「笑顔が生まれる」

学校運営協議会理事の皆様より（学校関係者評価）

2月22日（木）、学校運営協議会理事会を行い、理事の皆様に前期学校評価の結果とその分析について報告し、ご意見をいただきました。

- ・ 子どもと保護者に意識の差があるのでないか。例えば、「パソコンやゲーム、携帯電話やスマートフォンなどを使うときは、おうちの人と決めた約束を絶対にまもっていますか。」という設問の「約束」はどんな約束か、子どもと親では違うのではないか。
- ・ 子どもと保護者の意識の差をなくすために、「結果をもとに子どもと親が話し合う。」といった取組も有効ではないか。せっかく結果を公表するのだから、「公表して終わり」ではもったいない気がする。
- ・ 子どものアンケートは学校で行っているが、家で保護者と対話しながら答える形にしたらおもしろいのではないか。子どもと親が学校のことを話すいいきっかけになるのでは。
- ・ せっかく年2回行うアンケートなので、より有効に活用できるよう、質問の項目ややり方を見直していくもいいのではないか。

● 仕組み（年間スケジュールや校時表など）を見直します！

すでに「2月の学校だより」でもお知らせしましたが、

1. **校時表を変更**：5月連休明けより全学年6時間授業
2. **全学年で「外国語活動」**：1～3年：25時間 4年：27時間 5年：63時間 6年：60時間
3. **運動会を土曜日に実施**：10月13日（土） 予備日が火曜日、代休を翌週の金曜日で3連休に
4. **学芸会を「七三夢舞台」へ**：11月16日（金） 運動会とともに半月前倒しに

● 「キャリア教育」を通して、『自立する子』『協力する子』を育てます！

● 子どもの『主体性』を育みます！

1. あらゆる場面で「キャリア教育の視点」を意識させます！

つながる授業
学校で行っていることは、「すべてのことに意味があり、むだなことなどひとつもありません。」これは、これまで今後も変わりません。それを子どもたちに意識させる働きかけをどんどんしていきます。

「今日の学習は何につながりましたか？」

全ての学習の最後に必ずこの「問い合わせ」を投げかけます。そして、子どもたちは「もっと」「まわり」「じぶん」という視点でふり返ります。子どもたちなりに様々な「つながり」を見つけ、気づくことでしょう。この積み重ねにより、学校で行っていることは、「すべてのことに意味がある。むだなことなどひとつもない。」ことを実感させたいと考えています。

2. 「スッキリ」「バッチャリ」が生まれる授業

新しいことを知ったり、できない問題が解決できたり、なかなかできなかったことができるようになったり、できることがどんどん上達したりしたとき、子どもたちは本当に楽しそうな表情を見せます。それまで苦手そうにしていた子でも、初めてとび箱がとべると次の授業が楽しみになります。日々の授業でこのような経験を積み重ねることができれば、子どもは前向きに学習に向かうことができるでしょう。そこで、「今スッキリ」「未来へバッチャリ」を合言葉に、「明確な問い合わせ」と「スッキリするまとめ」をキーワードに今後も授業改善に努めます。

3. 与えられ・やらされる宿題から「自分で決め、自分で選ぶ自学」へ

つながる友だち
「知りたいこと・調べたいこと」や「今の自分に必要なこと」に自分から進んで取り組むことができる力は、将来に向けて重要な力です。ただ、「何をしたらいいのだろう？」と困っている子もいるでしょう。そこで、まずは「自分で選んで」「継続して」取り組んでいくよう、「七三自学メニュー（仮称）」を提示することから始めます。また、1年生も自由帳を活用し、少しずつ自学の取組を始めていきます。

4. 主体的な行動につなげるため、まず「きまりを徹底」します！

つながる遊び
「怒られるから」「誰かが見ているから」ではなく、「よりよく判断し、主体的に行動できる子」を育てたいところです。まずはきまりをきちんと守れることが前提です。学校や授業中のきまりを明確にし、教職員一同一丸となって指導を徹底します。

● 本気で「あいさつ日本一」を目指しましょう！！

● 「たてわりの力」をさらに！

1. 大人も、子どもも

つながる遊び
アンケートの結果からもまだまだ「あいさつ日本一」には到達していません。「人間・友だち関係」を築く第一歩が「あいさつ」です。本気で「日本一」を目指しましょう！

平成30年度版『七条中エリア 子どもの本気 大人の本気』でも筆頭に掲げています。大人が率先して手本となりましょう！

2. たてわり活動の充実

思い出深い「子ども時代」は、友だちとの遊びの中で紡がれていきます。子ども同士のつながりを大切にします。縦のつながりを生む「たてわり活動」を通して、特に高学年の子どもたちが充実感と自己有用感を味わえるようにしたいと思います。また、小中のたてわり活動も進めています。